

遺伝カウンセリングでは専門スタッフが「遺伝」に関する不安や疑問について、お話をうかがい、相談者のご家族が安心して納得のいく選択ができるようサポートします。

こんなお悩み、ありませんか？



「遺伝の病気かもしれないと言われたんだけど？」
「子どもに遺伝する可能性は？」
「家族に同じ病気の人が多いけど、遺伝性？」
「遺伝の可能性ってどのくらい？」
「家族性乳がんの遺伝子検査を受けたい」

不安や疑問に、専門スタッフが丁寧にお応えします。
ご希望に応じて遺伝学的検査も行うことができます。
診断がついた場合は、必要な診療科と連携しながら、継続的にサポートいたします。

遺伝カウンセリングの流れ

相談内容の確認

ご本人、ご家族の
病歴の確認
(家系図の作成)

相談内容に応じた
専門的な情報の提供

今後の選択の支援
「遺伝学的検査を受けるのかどうか」
「今後、どのような健康管理をしていくのか」
「家族にはどのように伝えていくのか」 など

相談者とそのご家族が納得のいく選択ができるよう、サポートします

対応できる主なご相談内容

遺伝性腫瘍（がん）

がんのうち約 5 ～ 10%は遺伝要因が大きく影響する「遺伝性腫瘍」といわれています。

特徴：若い年齢でがんを発症する
同じ人が複数回がんを発症する
血縁者に同様のがんを発症している人がいる など

遺伝学的検査（血液検査）で遺伝性腫瘍の原因となる遺伝子に、がんの発症リスクを高める変化があるかどうかを調べます。診断がついた場合は早期発見や予防、ご家族の健康管理に活かすことができます。

先天性疾病・希少難病

- 染色体疾患
- 骨の疾患
- 先天性代謝異常疾患
- 神経の疾患 など

希望に応じて染色体検査、遺伝学的検査、酵素診断などの検査が可能です。また当院は網羅的検査である IRUD 研究の連携施設であり、対応が可能です。

診断後は、疾患の特徴やご家族への影響などについて丁寧にご説明します。

遺伝性難聴に関する相談

難聴の中には遺伝性難聴があります。原因の遺伝子を確定させることによって、今後の難聴の進行具合や難聴以外の症状がでるのかなどを知ることができます。子どもや家族への影響なども含め、専門外来で丁寧にご説明します。

赤ちゃんの病気や出生前検査に関する相談

妊娠中の不安や、出生前検査に関する相談ができます。妊婦検診はすべての妊婦さんが受けますが、それとは別に希望した方のみが受ける「出生前検査」があります。

当院でできる検査：非侵襲性出生前遺伝学的検（NIPT）、羊水染色体検査

出生前検査はすべての人に必要な検査ではありません。検査を受けるかどうかは、ご夫婦でよく話し合い、納得して決めることが大切です。そのために必要な情報の提供、ご夫婦の意思決定をサポートします。

APOE 遺伝子型検査

2023 年に承認されたアルツハイマー型認知症の治療薬（抗アミロイドベータ抗体薬）は、ARIA（アミロイド関連画像と呼ばれる副作用）が出ることが知られています。ARIA は APOE 遺伝子型によって、副作用の発現頻度が違うことが知られています。遺伝子診療部では、抗アミロイドベータ抗体薬の副作用を知りたい方に、APOE 遺伝子型を受けて頂いています。

ご相談・ご予約について

遺伝カウンセリングをご希望の方は、下記までお気軽にご連絡ください。

医誠会国際総合病院 遺伝子診療部

TEL：080-2400-8547（受付時間：8:30～17:00）

遺伝子診療部 HP はこちら ▶

